

専門学校における情報提供等への取組に関するガイドラインの項目とその対応

目次)

1. 学校の概要、目標及び計画
 - (1) 学校の教育目標、特色
 - (2) 校長名、所在地、連絡先等
 - (3) 学校の沿革、歴史
2. 各学科等の教育
 - (1) 入学者の受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学生数
 - (2) カリキュラム
 - (3) 学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等
3. 教職員
 - (1) 教職員数
 - (2) 教職員の組織、教員の専門性
4. キャリア教育・実践的職業教育
 - (1) キャリア教育への取組状況
 - (2) 実習、実技等の取組状況
 - (3) 就職支援等への取組状況
5. 様々な教育活動・教育環境
 - (1) 学校行事への取組状況
 - (2) 校外活動、ボランティア活動等
6. 学生の生活支援
 - (1) 学生支援への取組状況
7. 学生納付金・修学支援
 - (1) 学生納付金の取扱い
 - (2) 奨学金と教育ローン等の取扱い
8. 学校の財務
 - (1) 財務状況
9. 学校評価
 - (1) 自己評価 学校関係者評価の結果
 - (2) 評価結果を踏まえた改善方策
10. 国際連携の状況
11. その他

1. 学校の概要、目標及び計画

【学校の教育目標、特色】

理容業・美容業を通じて社会に貢献し、生涯にわたって向上心を持つ人材を育成するため、就職後の定着と高度な技術習得に向けて産学のリレーションを作り、市場において必要とされる技術及びサービスについて常に実践的な学びを学生に提供する。

【校長名、所在地、連絡先等】

学校名 埼玉県理容美容専門学校
校長名 相川 浩一
設置者名 学校法人 埼玉県理容美容専門学校
代表者名 高野 春夫
所在地 〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-4-24
電話 048-822-1333
URL <http://sairibi.com>

【学校の沿革、歴史】

昭和 28 年 5 月 7 日 埼玉県知事より設立認可を受ける。
昭和 28 年 6 月 29 日 厚生大臣より理容師養成施設・美容師養成施設として指定を受ける。
昭和 28 年 7 月 1 日 浦和市北浦和県庁内仮校舎にて開校する。
昭和 29 年 5 月 31 日 厚生大臣より通信課程設置について承認を受ける。
昭和 29 年 6 月 21 日 大宮市に新校舎を建設し、移転する。
昭和 29 年 8 月 5 日 埼玉県知事より準学校法人埼玉県理容美容専門学校について認可を受ける。
昭和 56 年 2 月 9 日 浦和市北浦和の新校舎を建設し、移転する。
昭和 56 年 3 月 31 日 埼玉県知事より専修学校として認可を受ける。
平成 10 年 4 月 1 日 埼玉県知事より専修学校として認可を受ける。
平成 10 年 5 月 22 日 校舎増改築竣工。
平成 10 年 10 月 28 日 日本育英会奨学金貸し付け対象校として認定される。
平成 12 年 2 月 8 日 文部大臣より「専門士」の称号付与の認定を受ける。
平成 28 年 2 月 19 日 文部科学省より職業実践専門課程の認定を受ける。
平成 30 年 4 月 1 日 通信課程において、理容修得者課程と美容修得者課程の承認を受ける。

2. 各学科等の教育

【入学者の受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学生数】

受入れ方針

《アドミッションポリシー》

- ・建学の精神を理解し、学則を順守できる人
- ・理容師・美容師の国家試験を取得して業に就く意志のある人
- ・美と健康に興味を持ち、業を通じて人を笑顔に、人を幸せにしたいという、おもてなしの心と奉仕の心を持って行動できる人

入学者数	理容科 36名
	美容科 144名
収容定員	理容科 72名
	美容科 288名
在學生数	理容科 66名
	美容科 284名

【カリキュラム】

専門課程 (2 学年 理容科・美容科)

教育 課 目		授 業 時 数		計
		1 学年	2 学年	
必 修 課 目	関係法規・制度		30 時間	30 時間
	衛生管理		90 時間	90 時間
	理容・美容 保健		120 時間	120 時間
	理容・美容 の物理化学		90 時間	90 時間
	理容・美容 文化論	60 時間	30 時間	90 時間
	理容・美容 技術理論	60 時間	60 時間	120 時間
	理容・美容 運営管理	60 時間		60 時間
	理容・美容 実習	430 時間	380 時間	810 時間
	計	610 時間	800 時間	1,410 時間
選 目	一般 課 目	保健体育 社会常識論	30 時間 60 時間	30 時間 120 時間
	計	90 時間	60 時間	150 時間
	専 門 教 育 課 目	ネイル 毛髪科学 サロンワーク ヘアデッサン 理容科：総合技術 理容科：カラーリング 理容科：フェイシャル 美容科：総合技術 美容科：エステ 美容科：メイク	60 時間 60 時間 30 時間 60 時間 60 時間 60 時間 60 時間 60 時間 60 時間 60 時間	90 時間 30 時間 90 時間 90 時間
計	330 時間	120 時間	450 時間	
合 計		1,030 時間	980 時間	2,010 時間

専門課程 (1 学年 理容科)

教育 課 目		単 位 数				計		
		1 学年		2 学年				
		単位数	時 数	単位数	時 数	単位数	時 数	
必 修 課 目	関係法規・制度	1 単位	30 時間			1 単位	30 時間	
	衛生管理	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間	3 単位	90 時間	
	保健	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間	3 単位	90 時間	
	化粧品化学	1 単位	30 時間	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間	
	文化論	1 単位	30 時間	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間	
	理容技術理論	3 単位	90 時間	2 単位	60 時間	5 単位	150 時間	
	運営管理			1 単位	30 時間	1 単位	30 時間	
	理容実習	14 単位	420 時間	16 単位	480 時間	30 単位	900 時間	
	計	22 単位	660 時間	25 単位	750 時間	47 単位	1,410 時間	
選 択 課 目	一 般 課 目	社会科学	1 単位	30 時間			1 単位	30 時間
		社会福祉	2 単位	60 時間	2 単位	60 時間	4 単位	120 時間
		計	3 単位	90 時間	2 単位	60 時間	5 単位	150 時間
	専 門 教 育 課 目	サロンワーク	1 単位	30 時間	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間
		理容ケア	6 単位	180 時間			6 単位	180 時間
		毛髪科学	2 単位	60 時間			2 単位	60 時間
		総合技術			3 単位	90 時間	3 単位	90 時間
		総合演習			2 単位	60 時間	2 単位	60 時間
		計	9 単位	270 時間	6 単位	180 時間	15 単位	450 時間
	計	12 単位	360 時間	8 単位	240 時間	20 単位	600 時間	
	合 計		34 単位	1,020 時間	33 単位	990 時間	67 単位	2,010 時間

専門課程 (1 学年 美容科)

教育 課 目		単 位 数				計	
		1 学年		2 学年			
		単位数	時 数	単位数	時 数	単位数	時 数
必 修 課 目	関係法規・制度	1 単位	30 時間			1 単位	30 時間
	衛生管理	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間	3 単位	90 時間
	保健	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間	3 単位	90 時間
	化粧品化学	1 単位	30 時間	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間
	文化論	1 単位	30 時間	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間
	美容技術理論	3 単位	90 時間	2 単位	60 時間	5 単位	150 時間

		運営管理			1 単位	30 時間	1 単位	30 時間
		美容実習	14 単位	420 時間	16 単位	480 時間	30 単位	900 時間
		計	22 単位	660 時間	25 単位	750 時間	47 単位	1,410 時間
選 択 課 目	一 般 課 目	社会科学	1 単位	30 時間			1 単位	30 時間
		日本文化	2 単位	60 時間	2 単位	60 時間	4 単位	120 時間
		計	3 単位	90 時間	2 単位	60 時間	5 単位	150 時間
	専 門 教 育 課 目	サロンワーク	1 単位	30 時間	1 単位	30 時間	2 単位	60 時間
		美容ケア	6 単位	180 時間			6 単位	180 時間
		毛髪科学	2 単位	60 時間			2 単位	60 時間
		総合技術			3 単位	90 時間	3 単位	90 時間
		総合演習			2 単位	60 時間	2 単位	60 時間
		計	9 単位	270 時間	6 単位	180 時間	15 単位	450 時間
	計	12 単位	360 時間	8 単位	240 時間	20 単位	600 時間	
	合 計		34 単位	1,020 時間	33 単位	990 時間	67 単位	2,010 時間

【学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等】

理容科 理容師免許

パーソナルカラリスト検定（日本カラリスト協会）

JNEC ネイリスト技能検定 3 級（公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター）

JNEC ネイリスト技能検定 2 級（公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター）

JNA ジェルネイル技能検定（NPO 法人 日本ネイリスト協会）

日本化粧品検定（日本化粧品検定協会）

美容科 美容師免許

パーソナルカラリスト検定（日本カラリスト協会）

JNEC ネイリスト技能検定 3 級（公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター）

JNEC ネイリスト技能検定 2 級（公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター）

JNA ジェルネイルギ技能検定（NPO 法人 日本ネイリスト協会）

SBS メイクディレクター検定（全日本美容業生活衛生同業組合連合会）

SBS エステディレクター検定（全日本美容業生活衛生同業組合連合会）

日本化粧品検定（日本化粧品検定協会）

3. 教職員

【教職員数】

理容科

専任教員数	兼任教員数	総教員数
6人	16人	22人

美容科

専任教員数	兼任教員数	総教員数
16人	23人	39人

【教職員の組織、教員の専門性】

教職員の組織	学 校 長	1名
	事 務 長	1名
	経営企画部長	1名
	教 務 課 長	1名
	教 務 副 課 長	1名
	学 科 長	3名
	教 員	14名
	事 務 員	4名

4. キャリア教育・実践的職業教育

【キャリア教育への取組状況】

職業観を養う本校独自の就職プログラムやジョブカードを活用した個別就職相談により、1年次からキャリア教育に取り組んでいる。理美容の専門的な資質・能力を維持・向上させるために、卒業生講話や実務指導員による総合技術、サロンでの実務授業を取り入れている。卒業後も個別の就職相談を行うなど、卒業後のフォローも実施している。

【実習、実技等の取組状況】

理容科 実務指導教員を配置し、実習施設の指導者と連携を図り実務実習として学生指導にあたる。また、埼玉県理容生活衛生同業組合と連携し高度で専門的な理論と実習や実技等実施している。

美容科 実務指導教員を配置し、実習施設の指導者と連携を図り実務実習として学生指導にあたる。また、自身の目的に合うコースを自主的に選択する授業として、埼玉県美容業生活衛生同業組合等と連携した授業を実施している。そして、エステティック授業では、サロンで実践されている技術および接客サービスについて実務連携を取り授業を実施している。

【就職支援等への取組状況】

専任のキャリア指導員の下、ジョブカードを活用し個別に相談を行っている。

1年次	4月	社会人マナー
	5月	約200社の理容・美容・関連企業等を招いた就職説明会（浦和 CORSO）
	7月	サロン見学（1人3店舗）
	8月	
	10月	職業人講話（卒業生）
	12月	サロン見学（1人3店舗）
	2月	社会人マナー
	3月	インターンシップ（実務実習） サロン見学（1人3店舗）
2年次	4月	就職レクチャー 進路希望調査の実施
	5月	約200社の理容・美容・関連企業等を招いた就職説明会（浦和 CORSO）
	6月	就職マナー
	7月	インターンシップ（実務実習）
	8月	就職活動（見学・面接等）
	9月	個別相談・就職支援
	10月	個別相談・就職支援
	11月	サロン説明会参加（校外及び校外）
	12月	個別相談・就職支援（内定確定）

5. 様々な教育活動・教育環境

【学校行事への取組状況】

4月	入学式、始業式、オリエンテーション、教員の技術展示
5月	就職フェア、埼玉県技術大会（理容）参加及び見学、母校訪問
7月	埼玉県技術大会（美容）参加及び見学、関東甲信越技術大会（理容）見学、 学生技術競技会（関東大会）、閉講式
9月	ヘアショーフェスタ
10月	修学旅行、感謝祭
11月	学生技術競技会（全国大会）
3月	校内競技会（1年）、卒業式

【校外活動、ボランティア活動等】

- 4月 『踊るキッズヘアアレンジ』におけるヘアメイク【ステラタウン】
- 6月 『鳩ヶ谷宿 夏の陣』における浴衣の着付け・ヘアメイク【鳩ヶ谷商工会】
- 7月 『七夕スタイル～願いを込めて～』におけるヘアメイク【ステラタウン】
- 8月 夢のかけ橋事業（埼玉県主催）
- 9月 『浦和レッズ キッズヘアアレンジ』におけるヘアメイク【埼玉スタジアム 2002】
- 10月 『ノーザンハートきたまちハロウィン』におけるヘアメイク【ステラタウン】
- 12月 『浦和レッズ キッズヘアアレンジ』におけるヘアメイク【埼玉スタジアム 2002】
『さいたま国際マラソン』における給水・給食
- 2月 『キッズモデルオーディション』におけるヘアメイク【伊勢丹 浦和店】
- 3月 『浦和レッズ キッズヘアアレンジ』におけるヘアメイク【埼玉スタジアム 2002】

6. 学生の生活支援

【学生支援への取組状況】

担任・副担任制度	各クラスに担任・副担任を置き、学生の学習支援、生活支援など、学生一人ひとりに対して柔軟に対応している。
就学支援	FD 有資格者である専任職員が様々な悩みに対応している
通学支援	学生の駐輪場を完備し、自転車での通学が可能である
保健室利用	保健室を設置して、ケガ等の応急手当や、体調不良時に利用できるベッドを設置している。
健康診断の実施	健康管理の為、定期健康検診を毎年実施している
学生保険の加入	通学中、講義中や実習中、学校行事参加中、課外活動中に発生した不慮の災害や事故、器物破損等について補償している
就職支援	支援室を設け 2 年生全員の就職カルテを作成し、個別相談を実施するほか、約 2,500 件の就職情報を公開している。
アルバイト情報	本校に寄せられたアルバイト情報を掲示板にて掲示している。

7. 学生納付金・就学支援

【学生納付金】

専門課程（昼間）

学科名	理容科		計
	1年次	2年次	
入学検定料	20,000	-	20,000
入学金	60,000	-	60,000
授業料	384,000	384,000	768,000
実験実習費	144,000	144,000	288,000
施設費	80,000	80,000	160,000
空調費	40,000	40,000	80,000
教材費	361,000	167,000	528,000
学生活動費	30,000	30,000	60,000
諸雑費	25,000	24,000	49,000
研修費	60,000	50,000	110,000
合計	1,204,000	919,000	2,123,000

※ 教材費は概算の為変更する場合、事前に書面にて通知する。

専門課程（昼間）

学科名	美容科		計
	1年次	2年次	
入学検定料	20,000	-	20,000
入学金	60,000	-	60,000
授業料	384,000	384,000	768,000
実験実習費	144,000	144,000	288,000
施設費	80,000	80,000	160,000
空調費	40,000	40,000	80,000
教材費	293,000	111,000	404,000
学生活動費	30,000	30,000	60,000
諸雑費	25,000	24,000	49,000
研修費	60,000	50,000	110,000
合計	1,136,000	863,000	1,999,000

※ 教材費は概算の為変更する場合、事前に書面にて通知する。

【奨学金と教育ローン等の取扱い】

- ・ 日本学生支援機構奨学金制度
- ・ 日本政策金融公庫
- ・ 株式会社オリエントコーポレーション 提携教育ローン

8. 学校の財務

【財務状況】

財務について、期中において学校の運営方針に基づいて予算・収支計画を策定している。また、執行状況についても毎月、会計事務所の精査を受けており、年一回監事による監査を実施している。

財務関係は下記のホームページアドレスにて情報を公開している。

<http://r.goope.jp/penginweb/menu/c370087>

9. 学校評価

【自己評価 学校関係者評価の結果】

下記のホームページアドレスにて情報を公開している。

<http://r.goope.jp/penginweb/menu/c370087>

【評価結果を踏まえた改善方策】

下記のホームページアドレスにて情報を公開している。

<http://r.goope.jp/penginweb/menu/c370087>

10. 国際連携の状況

留学生入試を制度化している

11. その他

なし